

特集 茨城・水戸に建つシュトローの住まい

地域に密着した工務店として、地元住民に信頼される確かな性能と品質を追求してきたマイスター(有)(茨城県水戸市、大信社長)。その会社が住まいのさらなる進化を目指し、水戸市内の新築住宅に湿式外断熱外装システム「シュトローサーモ・クラシック」を初採用しました。今回はシュトローサーモ・クラシックで家づくりの新たな可能性を示した、同社の施工事例を紹介しましょう。

職人の心意気込めた家づくり



マイスター(有)大信社長

これまで30数年にわたって家づくりを行ってきた会社では、かねてから断熱・気密性を高めるための工法改良に取り組むと同時に、スタッコや天然素材を使用した仕上げなどによって、職人の心意気を込めた住まいを地域に提供してきました。

これまでグラスウールの充填(内)断熱で施工を行ってきましたが、外断熱も3年前に一度だけ施工。しかし、構造体の屋外側に断熱材を張

り、通気層を取ってから外装仕上げを行う納まりでは、外装材の垂れ下がりなど不安な点があったため、それ以来、外断熱で施工することはなかったそうです。

構造に負担かけず外断熱実現

その会社が今回、シュトローサーモ・クラシックを採用したのは、これまで言われていた外断熱の不安点が解消されていたから。断熱材のEPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム)に直接塗り壁仕上げができるため、外壁構造に重量負担がかからず、EPSそのものの透湿性が高いため、湿気が壁体内に残って構造体に悪影響を与える心配もほとんどありません。



ホワイトカラーのトップコート仕上げと木部のコントラストが新鮮に映る外観

完成した住宅の外観は3つの片流れ屋根の組み合わせが印象的で、ホワイトのトップコートで外装仕上げを行うことにより、明るく清潔なイメージを演出。木製のデッキやバルコニーフェンスが絶妙なアクセントとなっています。

室内は同社のこだわりである天然素材を活かした仕上がりが見どころ。関東地方の住宅としてはハイレベルな断熱性能となる100mm厚のEPSを外壁に採用したこともあって、1年を通じてとても心地よく快適な暮らしを送ることができそうです。

標準採用に向け施工合理化にも意欲

同社の大信社長は、シュトローサーモ・クラシックを標準採用する意向を示しており、「次に施工する時は作業場でEPSの加工を済ませておき、現場では塗り壁仕上げのみ行うようにすることで、EPSの端材発生を抑えるとともに、コストの削減につなげていきたい」と話しています。



窓回りの納まり。100mmのEPSを使っているのので、その分、壁面がサッシより屋外側に出ている



室内は天然素材にこだわった仕上がりが見どころ

ニュース・セレクション

業界の地位向上へ活動推進

北海道ブローイング断熱工事業協同組合では、3月22日に札幌市内のホテルで通常総会を開催し、会員相互に行うグラスウールブローイングの施工現場検査事業の推進や、優良技能者認定試験の実施など、前年度の事業報告と新年度の事業を満場一致で可決した。

冒頭のあいさつで太田吉四郎理事長(株)ダネツ社



あいさつを行う太田理事長

長は「これまで続けてきた検査事業によって、ブローイング工法に対するユーザーの信頼と安心が高まり、一定の評価をいただいた。今後もいっそうの努力を続けていきたい。また、建設業許可業種例示追加については、全国の吹き込み断熱業界とメーカーの合意を得て、国土交通省へ陳情書を提出する条件が整った。難題も多いが、継続的な運動として業界の地位向上のために活動を続けたい」と会員へ理解と協力を呼びかけた。

省エネ性の認証・表彰制度創設

財日本地域開発センターでは、構造躯体と暖冷房・給湯設備機器を合わせた住宅の省エネ性能を認証・表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」制度を創設。地球温暖化防止への貢献度をハウスメーカー・工務店に競ってもらおうと同時に、ユーザーには住宅購入時の判断材料となる有益な情報を提供する。

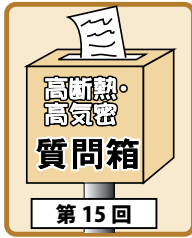
この制度は、構造躯体と設備機器を合わせた年間一次エネルギー消費効率で、一定の基準を満たす住宅を認証する「スマートハウジング・イン・エレクトリック」という認証制度と、その制度で認証された住宅の中から、住宅トータルでの省エネ性や、省エネ性の向上に関する独自の工夫・先進性、居住者への住まい方の提案などの面で優れた住宅を年1回選定・表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」という表彰制度の2つで構成。今年5月からハウスメーカー・工務店などを対象とした認証申請の受け付けを開始する予定だ。

問い合わせは同センター内のスマートハウジング委員会事務局(☎03-3501-6856)へ。

フラット35の団信で3大疾病も保障

住宅金融公庫と財公庫住宅融資保証協会が統合して発足した独立行政法人住宅金融支援機構では、民間金融機関との提携による長期固定金利住宅ローン・フラット35に付帯する団体信用保険(団信)として、新たにガン・急性心筋梗塞・脳卒中も保証する3大疾病付機構団信の取り扱いを開始した。

団信はフラット35を利用する場合に加入可能な生命保険で、住宅ローンを返済中、死亡または高度障害状態となった時に残ったローン全額をユーザーの代わりに弁済するもの。新たに取り扱いを開始する3大疾病付機構団信は、ガンと診断された場合や、急性心筋梗塞または脳卒中を発病し、60日以上所定の状態が続いたと診断された場合にも保険金が支払われる。最高保険金額は1億円で、初年度特約料は借入金額1千万円あたり年5万4,700円と、従来の機構団信の年2万8,100円よりも割高。問い合わせは団信サービスセンター(☎03-5800-8400)へ。



地下室の夏型結露を解消するには？

Q…お客さんの要望で地下室を造ったところ、夏になると室内の壁面で結露すると言われて困っています。どうすれば結露を防げるでしょうか？

A…これから建てる住宅であれば、地下室のRC躯体を外断熱して他の階と一緒に全室暖房すれば地下のコンクリートの温度が上がり、夏場の結露防止に効果的ですが、既存の地下室や温暖な地域の地下室の場合、暖房設備を設けないことが多いため、別な手段を考えなければなりません。

実際に夏型結露が起こったら、対症療法になりますが除湿器を運転するのが手っ取り早い解決策です。市販されている家庭用の除湿器は、水を溜めるタンクが満水になると自動停止する機種がほとんどですので付けっ放しでも安心ですし、市販のホースで排水可能な機種を選んでおけば水を捨てなくても除湿し続けてくれます。このほかにも、吸湿性能の高い珪藻土を壁に施工するという手もありますが、どうしても結露が治まらなれば現場発泡ウレタンなどで室内側からRC躯体



地下室の夏型結露を防ぐには、RC躯体を暖めることが重要

体の壁を覆うなどの断熱改修を考えましょう。

肝心なのは、冬型結露とは異なり換気による解決がほぼ不可能なこと。冬の外気は水蒸気量が少ないので、換気が結露対策の有効な手段になりますが、夏の外気は水蒸気量が多く、換気をしても室内空気中の水蒸気量はほとんど変わりません。

そうすると外気を導入しなければいいのかという話になりますが、居室として地下室を使うのであれば、気密性が高いだけに換気は必要不可欠です。ですので外気が壁で露点温度に達しないよう、地下室のRC躯体を冷やさないことが最も重要になります。冬の間はしっかり暖房し、窓があれば春先には日射を取り入れてRC躯体を暖めるという居住者の暮らし方の工夫も求められてきます。

●編集●後●記●

◆旭川は、4月に入ってから寒い日が続いています。冬に雪が少なかったのはいいのですが、結局桜の開花予想も平年並みらしいのです。今年の夏はどうなるのか検討もつきません。(佐野)

◆最近のトイレは掃除しやすく、汚れが付きにくく、水の使用量も少ないなど、高機能化が進んでいます。浴室やキッチンもそうですが、「楽に、便利に」という人の欲求は尽きることがないものだなと思っています。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netso.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

- フローイング工事各種
- 外断熱工事
- 気密工事
- ウレタン吹付工事
- 断熱建材製造販売
- 住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■千歳支店	〒066-0008 千歳市根志越2190-27	TEL(0123)26-4111 FAX(0123)26-4112
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822 FAX(029)291-1825
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016